

河川整備計画に関わる諸問題 国交省との話し合い

川辺川ダムに関して 1/365と364/365はどのような洪水か説明せよ

緑の流域治水－流水型ダムは基本高水治水が河川の破壊・災害の激化の主要な要因になっている事実を覆い隠すために登場させただけのものであり、球磨川流域豪雨災害の事実に基づかない河川整備計画は更に豪雨災害を激化させるだけであろう。

大橋地点のピーク流量に関して しぶき水は削除して水位はそのままか

9時過ぎに最も大きな洪水が押し寄せた事実は認めるのか

大橋はしぶき水が流れたと言明したことと併せて説明せよ

九日町地点の洪水の流れ方を説明せよ。左右バランスよく流れているのか

水位計は何処に取り付けられているか その近くの欄干はどうなっていたか

山田川の氾濫に関して 氾濫の事実を否定して住民の命は守れるのか

6時ごろ、出町橋周辺ではどのような氾濫が起きていたか

早い段階で氾濫していた検証はどのように行ったのか

県知事は「検証は科学的に客観的に行われた」と言明してる

バックウォーター説を正当化する理由の一つとして山田川は1965年には

早く流れていたが、2020年はゆっくり流れていたと説明しているがなぜ

広範囲にわたって市街地入り口に位置する護岸が崩壊したのか説明せよ

万江川の氾濫に関して 温暖化による豪雨災害の事実を無視するのか
万江川橋地点では何時頃から氾濫が始まったか
山江村流域で氾濫しているがバックウォーター説で説明せよ

渡地区の氾濫について 治水対策の検証をなぜ行わないのか
第二橋梁が7時30分には崩壊した、何が原因か
肥薩線脇の小川川の堤防が崩壊したのは何時か 導流堤で防ぐ
ことが出来なかったのはなぜか
なぜ、莫大な流木が小川川の上流から流れ込んできたのか

瀬戸石駅崩壊に関して どのような科学的で客観的な検証を行ったのか
駅が壊滅した要因はなにか
瀬戸石ダムは洪水の流れをどのように変えたか
駅地点ではどのような流れが発生していたのか

川辺川ダム建設予定地の地質に関して 1/365珍説と関連づけて安全性を説明せよ
川辺川ダム建設予定地の地質は強く褶曲し、多くの断層が存在
しており、破碎作用が著しく進んでいて地すべりや山腹崩壊を引き
起こす地帯が広く分布している。瀬目トンネル崩壊はそのよい例で
ある。にもかかわらず、環境影響評価で一切扱っていない。なぜか